

## 下水道事業とJSを取り巻く厳しい状況

- ・下水道事業は、新設中心から再構築や管理・運営に重点が移っていくとともに、新しい経済・社会情勢に応じた地域の多様な課題の解決が求められる一方、**国・地方を通じた困難な財政事情、地方公共団体の執行体制の脆弱化**が進行。
- ・こうした状況はJSも同様。24年度から3年連続で経常赤字となり、厳しい経営改革を余儀なくされた。H27は経常黒字に転換したとはいえ、**経営改革は未だ途上**。

下水道事業を取り巻く状況が変化する中**地方公共団体を支えていく役割を持続的に果たすため**、4次計画の経営改革を引き継ぎ、**危機感を共有**しながら進めていくことが必要。

## 基本理念

「日本下水道事業団は、下水道ソリューションパートナーとして、技術、人材、情報等下水道の基盤づくりを進め、良好な水環境の創造、安全なまちづくり、持続可能な社会の形成に貢献します」

## 中期的な経営の基本戦略

- ① 業務全般にわたり**生産性・効率性を向上**させるための見直しを行い、順次具体化
- ② **地方公共団体、JS、下水道関係団体・民間企業等の三者**が、**新たな水平関係のパートナーシップ**を築く

## 経営方針

- ① 経験知や人材等**JSの強みを最大限に発揮できる経営**に積極的かつ継続的に取り組む
- ② **地方公共団体と一体となって課題解決**に取り組み、JSの強みである設計・建設を中心に、**事業運営全般にわたる総合的支援**を行う
- ③ 新たな技術開発、人材育成など、**下水道界全体の発展を牽引する先導的な取組**を行う
- ④ 積極的な情報発信等を行い、**下水道関係団体や民間企業等との連携強化**を図る
- ⑤ 業務効率化や質の向上に資する**ICTの積極的な活用**を進める
- ⑥ **効率的・効果的な業務遂行**を目指した**組織づくりや仕事のやり方**の検討・改善により、**経営の持続的安定**を図る
- ⑦ **技術力を継承し、適正な執行体制を維持**するため**各職種に目配りした新規・中途採用**を進める
- ⑧ **職員一人ひとりの業務遂行能力を高める**、**ワーク・ライフ・バランスに配慮した柔軟な働き方**

## 事業推進計画

【計画事業量：期間合計約 7,830 億円】

### 1 下水道ソリューションパートナーとしての総合的支援

#### ①【重点事業】再構築

- ・JSが建設し更新時期を迎える施設等の計画的な再構築、施設全体を見据えたストックマネジメント計画策定等の一体的支援、ICT活用による生産性向上、広域化・共同化など事業運営効率化

#### ②【重点事業】浸水対策

- ・局地的集中豪雨から住民や都市機能を守る緊急的な浸水対策支援、これまで実施した計画策定やポンプ場整備の知見の整理・活用、ハザードマップ等を組み合わせたハード・ソフト一体的支援

#### ③ 地震・津波対策

- ・被害発生の懸念がある地域等の施設の耐震化・耐津波化、ハード・ソフト、平時・非常時一体的な支援

#### ④ 震災復旧・復興、災害支援

- ・東日本大震災・熊本地震の復旧・復興の早期確実な実施

新たな事業への挑戦

#### ① 処理場維持管理

- ・実施中の維持管理業務の結果を検証しJSの役割を明確化

#### ② 管渠事業

- ・実施中の管渠整備の結果を検証しJSの役割を明確化

#### ③ 資源・エネルギー利活用

- ・広域化・共同化等の機会に利活用を提案、関連新技術導入

#### ④ 代行事業

- ・体制が脆弱な地方公共団体の事業運営支援等

#### ⑤ 多様なPPP/PFI導入支援

- ・地域の実情に応じ多様なPPP/PFI手法導入を支援

#### ⑥ 政策形成支援

- ・団体と共に考え全体最適な解決案を提案し事業計画等に反映

PDCAサイクルにより  
実効性確保

## 組織運営計画

### 1 安定した経営基盤の確立

#### ① 新たな組織体制の確立

- ・5次計画でのJSの役割を果たすため、必要な直接部門の職員を確保した上で、29年度中を目途に組織の検証・検討を行い、その結果を踏まえ必要な見直しを順次実施

#### ② ICT等による業務改革・経費削減

- ・ICTの段階的活用、生産性向上に必要なシステム開発等の設備投資、聖域なき経費削減

#### ③ 安定的な収入の確保

- ・受託建設工事の新管理諸費の定着・検証、政策形成型業務の手法見直し・検証

#### ④ ガバナンス・リスクマネジメントの強化

- ・内部統制の浸透、違法行為・重大事故発生防止・悪影響低減

### 2 下水道ナショナルセンターとしての機能発揮

#### ① 最先端ICT技術の開発・実用化・普及

- ・ICTを活用した生産性向上・最適化技術の開発・普及、下水道CIMの実用化

#### ② 新技術の開発・導入・改善

- ・資源エネルギー利活用、省エネ・低炭素化技術等の開発、新技術導入

#### ③ 地方公共団体職員・民間技術者育成支援

- ・地方開催型研修など幅広い研修手法の事業化、研修環境の改善

#### ④ 国際貢献及び国際水ビジネス展開支援

- ・新興国の下水道事業支援、ベトナム版JSの運営支援、本邦企業の国際展開支援

#### ⑤ 技術基準の策定

- ・技術・知見の形式知化、技術基準化

#### ⑥ 技術情報等の蓄積と分析

- ・設計・施工等を通じJSが保有している知見を蓄積・分析し、アーカイブとして整備

## 事業実施上の視点

- ・JSの位置付け・役割等に関する説明責任を果たす
- ・効率化支援のため、**選択と集中**の観点を含め提案
- ・多様な主体と強みを活かして役割分担、**水平連携**
- ・データ収集・分析による効果的提案、**情報受発信**

## 事業の実施状況把握と得られる効果

- ・事業実施によって住民・社会へもたらされる効果(**アウトカム**)を示し、事業効果の可視化を図る

### 2 働きやすく誇りと希望を持てる職場づくり

#### ① 人材育成

- ・ソリューションパートナーとして必要な企画立案能力等の強化

#### ② 人材確保と働きやすい職場づくり

- ・安定的・計画的な職員採用、継続的な外部人材受け入れ、経験豊富な人材の活用、施工管理業務の効率化
- ・女性、育児・介護を行う職員、高齢者等が安心して働ける新たな人事制度の検討・試行、ワーク・ライフ・バランスの確保